

實相寺 花園會報

お寺の掲示板

令和六年
三月一日発行
発行所
臨濟宗妙心寺派
陽明山 實相寺
實相寺花園會
〒761-0450
高松市三谷町
1811番地1
TEL087-889-3838
編集発行人
山本文匡
<https://www.jissouji.net>

第179号

最後の春休み

もしもできることなら

この場所に

同じ時間に

ずっとずっと

ずっとずっと

松任谷由美

早いもので今年ももう3月。
学生達は卒業や進級で環境が変わるでし
ようし、社会人も年度末を迎えます。
出来ることなら、このままずっといたい、
というのは誰しもが思うことでしょうが、
残念ながら時は常に過ぎていきます。
お互い、かけがえのない「今」を大切に
過ごしましょう。



「出頭用の沓」
2Pに書いたように、禅寺の仏
殿や法堂は瓦敷きになっている為、
僧侶は左の様な沓を履きます。左
下は天龍寺法堂の写真です。位に
よって色が変わるのは妙心寺も同
じですが、妙心寺では赤い沓にも

白い模様が入る点の違いです。



妙心寺仏殿

「臨濟宗の信心」

二月の下旬に香川県教誨師会の研修で京都刑務所を訪れました。その折に高松刑務所の教誨師が所属する京都の各本山、知恩院（浄土宗）、東本願寺・西本願寺（浄土真宗）、妙心寺の四ヶ寺にもお参りしたのですが、あらためて臨濟宗の特徴を考える機会になりました。判り易い違いから言えば、知恩院や東西本願寺は全て和風建築であるのに対して妙心寺の主要な建物は殆どが中国風（唐様）です。もちろん妙心寺にも大方丈や小方丈などの畳敷きの建物もあるのですが、お釈迦様を祀る佛殿や狩野探幽の雲龍図で有名な法堂、無

相大師をお祀りする開山堂の床は全て瓦敷きです。

またそれぞれの建物の配置や大きさにも思想の違いを感じました。知恩院で最も大きな建物は法然上人を祀る御影堂です。三門から登っていった境内の正面に御影堂が南面して建っています。一方ご本尊を祀る阿弥陀堂は御影堂よりずっと小さく、西側に東面して建てられています。西を背にするのは阿弥陀仏は西方浄土にいらっしやる仏様だからでしょう。

東西本願寺はそれぞれ烏丸通、堀川通といった大通りの西側に建っています。東面しているのはやはり阿弥陀仏が西方浄土の仏だから

らでしようが、東本願寺では親鸞上人を祀る御影堂の方が、阿弥陀堂より一回り大きく、境内の中心に建てられています。西本願寺は御影堂と阿弥陀堂がほぼ同じ大きさですが、やはり境内全体の中心に建っているのは御影堂です。

これらのことから、浄土宗や浄土真宗ではご本尊と同等か、それ以上に宗祖である法然上人や親鸞上人が重要であることが判ります。

一方、妙心寺では南から三門・佛殿・法堂と縦に並んでいます。最も大きな法堂には何も祀られていません。法堂は生き仏である管長猊下が須弥壇に登って法を説く場所だからです。

また妙心寺に限らず臨濟宗本山の開山堂は少し離れた静かな場所にあり、知恩院や東西本願寺の御影堂が多くのお参者を集めるのに対して、誰もが気軽にお参りできる様な所ではありません。

西本願寺では朝のお勤めにも参加したのですが、総じて浄土宗や浄土真宗では皆で一緒に阿弥陀仏や宗祖の教えにお参りすることが信仰の中心であるのに対し、臨濟宗の信心というのは、自分の外の仏像や経典を拝むことよりも、一人一人が自らの心を見つめて、自心が仏と気づくことにより重きが置かれているのだと、あらためて強く感じたのでした。